

ハスト又週報

5

茨の道

バストスの日語校も六四年十二月に開校以未滿一年を逕過した。順調に迄り出し平穏に一年を過ごしたわけではなく、省れは幾多の難闘が起伏し、茨の道であつたといえよう。

第一に校舎の問題で行きあたった。中央会館を借り受けた話になつて六五年二月一はいそこで授業をしたところ、州立中学の本校舎が雨漏りによる損傷のため中央会館を使うことになつたため、止むを得ず空け渡し、三月から橋本氏の寮を当分の間といた約束で貸して頂いた。市役所から旧ソロカバナ倉庫を借りて窓を改造しようかと相談しているところへ病院裏の恩賜病棟を一時使つてよろしいと日伯協会から助け舟が出て、辛うじて移転ができた。すると、予ねて申請中の公認許可がありたという朗報が松本春枝先生から届いた。しかし、そのため申請場所が中央会館になつていてしかも夜学だけ使用する許可を貰つた。夜学の定員は

筆者、この様に校舎を軒々とかわろことは当つまごつかせた。云の他机椅子等も全部州立中学からの借物である。バイレがあろ度毎に机をもつて行つてしまふ。初めの内は月曜日の授業にまに合うより遅延してくれたが、近頃は無断で持ち出し、誰がどこへ運ぶものやら、三日たつても四日たつてしま梨のツブテである。

教材だけは日語校のものを持ちたいと云ねて念願していながら、かんせん今の所全く財政が許さない。

本来なら校舎を所有し教材も調えた上開校にふみ切るのが順序であろうが、その順序を踏んでいたのでは到底日語校の発足は実現できなかつたかも知れない。

第二に挙げる苦汁は財政の問題であつた。先生への御礼は主として生徒から収めます。月謝を以て充当し、若干の經營費は有志の寄付で賄ふ。賛助会員を募つて会費の寄付を受け、机椅子の教材を購入する計画であつた。

二の見通しは生徒激減事件のため簡単には蹉跌した。理解なき教師へ日語に非ず

第八二四号
昭和四十年
二月四日
登行
DIRETOR,
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 788
C. POST. 112
FONE. 40
BASTOS
C. P
ANUAL
CR. \$
4.000

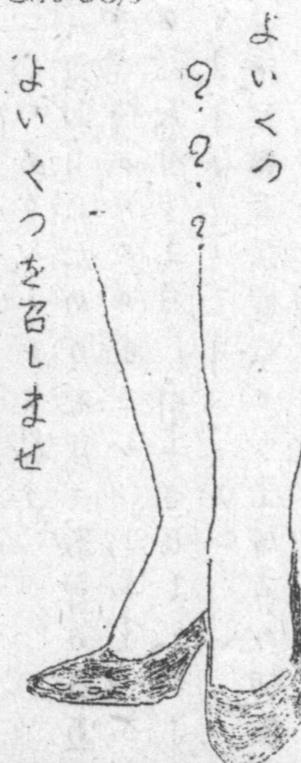


Fone. 22

卷之三

Sapata Bastos

早川
革店



よい」というの定義?

久留米二郎

革

の「日語を習う者は葡語の成績があちる」の一語は一種の圧力となつて六五年五、六月は生徒数が半減し、これが対策と曰くには人知れぬ苦労が払われたのである。御存知の如く日語教師はどこでも好遇されていない。大事な問題だと口を揃えて云う割に本心の所在が疑われる程冷單な一面もあるのである。

先生だけを犠牲にしてなるべく安い謝で子供に日語を覚えさせたい。極端ないい方をする所ではなく、ういう表現になる。生徒が半減したからといふ理由で先生の解説が出来るものではない。現在のようないい条件のよい先生は鍾や太鼓で探したくて見つかるものではなく、又吾々世話を人は会長を補佐して、たとえ生徒が十名に減じたとて初志の貫徹を期する決意をほこにするものではない。そのため賛助会費は解消の軍資金となつた。昨年五月吉浦会長極負補佐のお二人はG区H区を別訪問して賛助会費を徴集されたが、かような方事を毎年続けるようでは当奉者が参つてしまふ。日語教育を急ぐ前進させるための根本策を講じなければならぬ重大問題に行き当つているのが、本年度の宿題ではなかろうかと思うのである。賛助会費の昨年分は残念乍ら教材購入の資金とはならなかつたが、会長及補佐のお二人に二枚古を使わせてはならない限りで別に対策を研究していくので、いわれ解決の日途がつくものと思われる。前述のように過去一年は試録の年であり前年のよう過去一年は試録の年であり日語教育制度の確立が容易なものでない事をつぶさに教わつたわけであるが、この財政面の打解は、かかつて勇氣と決断にある。中学入試の準備校の月謝を見よ。セグンタエホカナルソリ月謝を見よ。それも十コント以下ではない。無論需要のハセントシが日語とはちがうかも知れない。或は期間の长短も卒業生によつてある。中学生に週ぐるものがいる。しかも、その一コントすら容易に届けられない。しかし、今日の月謝が一コントという方は、いふべきで思ひ中止に週ぐるものがいる。父兄の常識を疑いたくなるではないが、少しく激越な言葉を使つて相済ませが結局いかに当事者や世論人が縁の下の力持ちをしても父兄方の協力が伴わなければ前進も改良もあつたものではない。わかっている。これを救助する道は唯一月一コントで支本画カハドヤキ波ことは兄の身にとり親族会議を開く程の重大事ではない筈である。切に父兄の御理解を期待する所以である。そこで吉浦会長は就任時の約束通り「一年だけお引受けする」といつた約束を果したので会長辞任。即ち復員改選を打ち出して居られる。吉浦氏の心中複雑なものがあるであろう。

クチナシ
は出でるが、
錢は出でない

□は出すが錢は出さない



Foto Shimamoto

バストス警察署御 横尾イデンチタチ用の字典は当館で

才鳥本

Fone. 63

此の日語校聖嘗のむすかしさは上述の報告的文を見られてもほほお判りでありますと思ふが、わけても財政面の不如意では相当頭がいたい。
どうか父兄の方はひとり残らず、且つ父兄少なくとも日語学校の聖嘗に関心をお持ちの方、その他一人でも多く当時は御出席下さつて隔意なき意見をのべて下さるよう御願いするものである。
日語校の一年をふりかえつて、皆さんの関心に訴えたいと思ふ点を強調した所以ある。

現在の日本人の生活は金を溜めたり財産を作ると云うよりも生活を営むもどいう行き方であるといふことを聞いていたいたが、実際によく観察して見ると仲々どうして、かつちりと引き締つた生活をして居るのである。唯外觀だけを見れば文化の進歩によつて、家庭には立派な調度品を備え、ラジオやテレビを据え、食へ物も着物も贅沢になり、春秋の旅行シーザンには、爺さんも婆さんも主婦も子供も旅行に出掛け、週末には家族連れでハイキングなどとしやれこみ、如何にも儉約とか貯蓄など眼中にない様に見受けられるけれど、其の実繕る処はちゃんと繕つて居て意味ない無駄な金は使はず貯金をしてゐるのである。日本には貯金の種類は郵便貯金、銀行預金、信托、農協、証券債権、株券、保険など沢山の貯金法があり、各家庭が何れか二三の貯金をして居るので全国民の貯金高は二十兆円と云う

莫大な額に達しているのである。これを
戸数に割ると一戸当たり八十万円、一人当
り赤ちやんまで二百万円の貯金を持つて
いるのである。伯賀に換算すると一人一
千コントスである。

あの狭い国土に一億の人間が生活する
だけでも容易なことではない。しかも敗
戦後未だ二十年で戦災の癪瘡から立ち上
り此の巨額の財蓄の出来たのは如何な
る理由によるか。その蔭には無汰俠士を
省く勤僕貯蓄の確固たる精神があつたか
うに外ならぬ。そのむだ使ひを省く一
例を挙げると冠婚葬祭其の他種々の祝い
事、歓送迎等が至極簡単に行われて居る
私は八ヶ月の滞在中葬式に二回、結婚
式に三回列席したが、結婚式など誠に簡
單に経費の掛らぬ様に仕組まれている。
新郎新婦の式服は農協とか婦人会など
が夫組が造つておき貯蔵しきする。式は
係りの者が居て簡単にする。披露宴な
ども同じく農協などが引受けて一人前五
六百円程度の簡素な物で列席する客も
両家合同で人数も二十人内外であり、媒
妁人と両家のおもな親戚のみである。尚ほ
単なのは集団結婚で夫組もが合同でやる
のもあり、もつと簡単なのは神前で式だ
けで済ませ披露宴は省くのがえあり。

訪日二十三号

私の訪日土産
バストスの皆

真木諭吉

ババコックを飼つて
人は必ず儲けています

御申込

產業組合中央會

バブコック伯爵一手販売

Rua da Alfandega, 487
C.X. POSTAL 2986
FONE 33-7820 33-7847
33-7830
São Paulo

ムズンサセないまでも婚期の子女を抱えた親は皆頭が痛いのである。此の披露宴の馬鹿に派手な事はバストのみでなく邦人コロニア一般の陋習である。我々移民の任務は祖国の良い事をアラジル社会に広め、アラジルの社會に同化し、伯國社會に裨益する事にある。されば伯人社會の簡易な結婚方式を見習う可きである。以上述べた如き理由に鑑み是非改むべきであるが、しかし陋勢と云ふものはほつておけば容易に止まるものではない。兎角建るい方へは流れやすいが、良い方向へは道み難いのが世の中であるから、此の陋習を改めるには何が効果を作らなければならぬ。就いては其の改正の最も良い方法は此の陋習を司つて居る文化協會が總会に動議を提出して決定する外ないのである。親戚と組内だけで他人は招待せぬ事に決定する。さればこれができる。町は組が大きすぎるので是き十四五家庭に再編成が必要があるので是れ。そして披露宴はかりでなく凡ての催し事一切隣り組内で済せる事にすれば、交際が広く、その度に今度の綜合会館の寄付である。

連日の猛暑中御見舞申上ひます
週報社

募集に就ての話でも、町の人々の中には町は經濟に恵まれないのだから、シチオの人々に頑張って貢われねば、と云う人が数人いる。披露宴の派手になつたのは町に始まるが、そういう町の人の方々が披露宴の時のお客はシチオより遙かに多いのである。披露宴の派手になつたのは町に始まるが、その町の人の方が披露宴のお金をお金を会館へ寄付とが公益のために利潤されん事を望む次第である。おトイレの黄金が光らない事を再三再四御熟考あり、御反省されますよう、望んでやみません。

文化協會の役員の方々よ、綜合会館建設に努力されると共に、今一つ内部の草土を建設しようと、又住民一同打つて一丸となり、移民の故郷バスストップを、お墓参りばかりではなく、バスと致します。長らの御愛読厚く御礼申上げます。

*Tempero de Alta Qualidade
Glutamato de Monosódio 99.9%*

SUPERAGI



サンパウロ市ガルボンブエーノ街二二二七階

スパッパ味 たべもの屋廻り

チキン・コロッケ 東京日本橋「むら八」

大正時代の洋食屋といつた店構え、名前も平凡。こんな店が案外うまいのだ。コロッケはないかと見回わすと、壁の品書きに「チキン・クロッケ」とあった。早速註文して食べてもいい。つけ合わせのスパゲッティも、コレスローリサラスモリ。白ソースを使つた本当のコロッケで、かけてあるドミグラスもいか。しかもたっぷり、これで百七十円也。その他トマトロコシ、スープ、バラ肉シチュー、アラモード、豚ロースト、メキシカン・スパゲッティ、カルーラー、カレーライス、何でもあります。

お宅のお料理のおいしいわけ?

スパペ味をたっぷり
お使いになるからです



各商店でお求め下さい

連り叔て眼前に展開し雄大な景観言語に
犯す。車は高野駅に着く。此の幽遠な大

車場に心引かれつつ三両連結の電車は此の山間にもこんなに生産されるとかと思われる密柑や柿の箱を各駅で積込んで進行す。大阪の葛屋旅館に旅装をといたのは一月十四日、日没大分遅てからであつた。

卷六

野路小草

卷之三

今日届いた通報の手紙を讀ませて戴いて眞木氏の健筆を讚うて讀ませて戴いて眞木氏の健筆もさること乍ら糸音先生の健筆に今更乍ら敬服されました。

時に見受けられる一はい氣嫌の提灯記事とは遠つて眞に同感の持てる文章なのが氣持よく通説することができました。まあこれだけなら筆不精の私がペンを執るなどといふこともなかつたでしようが

「日の裏側」という題で海原小波のへ
物足りぬ思いがしてならないので、つい何
か書いてみたくて、一文を読み何が
氏の添削をした。戴いた関係からではなく、
生とお呼びするにふさわしいからなので
すがへきつと糸音先生は苦笑されると
（ようが）海原小波という方の大章は糸音
先生を讃えるにはほんの表面に触れた
だけの感想なので物足りなさを感じるの
でしょ。もつともつと糸音先生の人物
像を浮き彫りにする様な文章を書いて下
さる方を待望して止みません。

最近コロニアの有名人が次々に逝かれ
その追悼文も幾つか読んでいた訳ですが
最大限の讃辞が書かれてあっても肝心の
御本人は御存じのないニット、生きていて
うちにこそぞうした讃辞が聞かれたらい
そ本望であろうと思うのです。

とうした意味から週報に全身で取り組
んで居られる糸音先生の功績を讃える文
がもつともつとバストス人の中から生れ
てしまよいと確信するものです。

海原小波氏は私が権力者だつたら黙
草でも差上げたい所ですが路旁の雑草で
誠に残念です」と結んで居られますが、ど
うかバストスの皆さん、黙草に匹敵す
るところの名文をどうぞお寄せ下さい。
糸音先生の勞に報いようではありませんが、

アルのトライ語学校

池田

このオリンピックのシネマは一九六四年日本
の東京で行われました。ブラジルに住んで
居るわたしたちにはたいかいを見ることができなか
つて、シネマで見ました。わたしは八日の昼マテネを見
ました。あくまでも人は居りませんでした。

四年ごとにオリンピックが、かいさせられることになつてあります。いちばんはじめに、デスティーレがありました。いろんな生きものを見ていて、とてもきれいでした。いろんな生きものがおこなわれていろのを見た。わたしは、たいへんうれしかった。バレー・ボール、ナタソンが一ぱんよいとあもいました。バレー・ボールは日本がやうしようもました。いつもやうしようとしました。なんともいえないかんじのあんぐるをならして、やうしようした国のはたをあげます。せんしゅたちはおちつこうと思つていつもいらいうしていました。ほらがんせんしゅや、ほしろせんしゅたちは、てつぽうのなる前には心をあわせつけろためには、いろんなかつこうをしていろ。人がたくさんいました。

はだーではして、いたせんしゅたちはあしのひらが、けがだうけで、いたいのきがまんしていましました。

かく國から、さくかして、いるせんしゅたちは一番日本メタルをもらいました。二番はさんメタル。三番はとうメタルをもらいました。二人とのオリンピックは四年さきにメキシコでおこなわれることになつて居りますが、それせんしゅたちのきものは、おなじだろうと思ひます。

總會通知

左記の如く日語普及会及父兄会の第一回懇親会を開催いたしました

日語を教える事は大事な問題ですから
父兄は勿論、日語教育に關する方々
も多數御参加下さるよう御案内申します
場所 生長の家会館
日時 二月六日(日)正午から

○○○過去
役員任期一間
會計報報の議
改選告白事
音及会

一九六六年一月廿四日

バヌトス日語普及会

語父兄会長

東京オリンピック

小林八代重(義人)

トガニラリ

2

音楽

細中さんのこと

一九六四年、十八回目のオリンピックは日本の東京でございました。始めギリシャから、いかを持つて日本にじかつて走ってきます。日本では入場式が始つています。たくさんの國がつかからつぎと順にさよおひじょうへはいります。

ブラジルがはいつてきたときに外の國とひがくして、あんまりひんじやくたので、がつかりしました。日本の入場式を見ませ、あんまり美しがつたので、わー、やつは、日本だなと思ひました。

入場式が終ると、どうしに日本の青年かせいかを持って走って、さよおひじょうへはいつて来ました。高いかいだんを走ってのほつて大きつたましろ。そしてはとやふうせなども、上手た時は、色々で、どうぞこれいでいた。そして飛行機が空に五りんマーテを飛ぶきました。飛行男子のリクじょうさようの中では、一人の黒人がむにやむにやと口をうぶかしてありました。男子のほうかん投げもすいぶんおもしろいたらはうきついでみたりはろびていたマーテをおり入れたり、そりしなが、おいふんかんはつてありました。そのほかじゅうりようあけ、すいといたいそりレスリスケもありました。バーホールは日本とソ連がやりました。もう一点のさとどちらが勝つときまる前日本のチームの先生が心配そうな顔をしていました。かわいそに思いました。日本か十五たこい十三で勝ちました。金メダルをもうう時はどくでしうれしくてなみだ見てほしてました。中でめな人もたくさんありました。

長い間御ひいきを賜わりましたが、このたびサンパウロ方面にムダンサする二とになりましたので全商品一〇%引で提供いたします。

はや目にあいで下さい

力・ザ・コロニア

一ワリビキ

重道商店

Foto. 22

細中仙次郎氏がせくなつてはや一ヶ月たつ。細中さんの逸話、エピソードなどを集めてみたいと思つて原稿募集広告をし始めたが、まだ一篇も送つてくれる人がない。そんなにむずかしく考えなくて、細中さんは何故と大きを生やさなかつた? といつたことでもいいし、こんな幸もあつた。細中さんは事もあつたという恩い出話を、けつてないで気軽に一文を寄せていた。だきは改訂時に私から一つ。

君百姓ができるのかい?

バス停が開設されて三年目、カ左ランジヤの商務部エンソーンで食事中、隣りのメンサセ女優が一人バス停を見て来た話をきいていた。すこくいい土地なんだ。初夏夜に声日をスキ植えた人なんか、木ができず歩きまつて、ヘソの辺から左手でさう抱えて、さくつと、やろんだねそれでも即くよきわらが長すぎるとんだ。

その語きみて、早速バス停を視察したが日本直乗でないと入植できんと、その文書が云うものだから、力マダにでも使ましてもおらず、バス停移住地車駅所の役でも車を渡せばなら来てもよからう。一年もしかね在伯邦人も入植できるようになろ。

それから細中さん宛の手紙をことずかづきなりで住宅へ訪ねていった。その時が細中さんとの初対面だった。白皙といた感じの中年紳士、千ヨビヒケをはじめとしていた。きの時細中さんは四十二、三歳だった。

「ほえ君が百姓あるのかね?」

「でも現在百姓やっているんですが、」

「そり難にしでは色が白いな」「

「そり難でもないが、せりとうせろかね」

「中島黒くなければ、その監督さんが助け舟を出してくれた。この人は圓鏡があつた、働き者だという風に取なしてくれて、五〇点位の奨学金でパスした。」

「では中島君の配下でしばらく働いてみたまえ。その内適当の仕事があれば、やつてもらあう。」

その時弟の仕事も相談した處、草花など作る趣味があるかといふ質問だった。こんな趣味はありませんといえは失格す

「大した顔ではありますんが草鞋は好き

のようです」
「一しょに来るなう僕の所へつれで來た
まえ。あ、それから君、帰るときもア一
度ニニに寄つて、Aさんの返事を書いて
おく」

それから一ヶ月後私たちはバストスへ
移転して來た。そしてすぐ中島監督の所
へ挨拶に行つたところ
「お前はヘンキ屋だそうだな、アヌニアン
から学校へ建築生へ入つてヘンキぬりを
やれ、ジエニテのいいつけだ。弟の方は
カンテ一口の水運ひだ、わがヌたなし
とうとう私は俄かヘンキ屋になりすま
して、おまんまにあり、ついた
ある日Yといふ相棒と二人で足湯を作
り天井を塗つていた。天井を望るには、あ
り向いて手を伸してやる作業なので首が
だらくなる、ヘンキがハケをつたわつて
手や顔をよこす。いい加減きたない仕事
であろう。そこへ烟中支配人さんが、お客
さんらしい人と二人寝室内にて見に来ら
れた。私の仕事を互みて、
余り上手じやないようだな、一室一人
と笑つて見ていたが、やがてYといふ相
棒を足場からおりて未いと命じ
た。君は明日から病院のレンガをつみなさ
い。向うはペテレイロが足うんので困つて
いる」とマンタレた。するとYは頬をふ
くづませ、
「わしやレンガなんか積んだこたあない
から、そんな仕事はできまつせん」と
へんきぬりなどに二人がかりといふこと
はない。
「烟中支配人一寸も引かず、強引にマン
額で、
出来るもんか」とだいムキヤだよ。ペテレー口なんて
額で、
「だつて承知したんだろ、やれるさ」と
一日、太陽の下であんな荒い仕事をやつて
みろ、
「だつてYはヘンキ屋での二ろ私を羨望
した。烟中さんは私の知らぬ間にヘンキ
終つてから、カルビーの請負や、山伐り
の下請をしたりしていたら、ある日、道
で烟中支配人は出会つて、ごぶさたして
居りますといつたら、
「君は精米所のマキナを扱つたことがあ
るぞうだね。次の月曜日から、精米所へ
出勤してくれないか」
「どういう引き合はか、烟中さんのお金
所がかりでマキナの扱いようも知らぬ精米
所がどれをすることになつた。(二イ稿了)」

二月句会案内

二月十三日(日)夜八時

場所 コチヤ村 佐藤耕雨庵

兼題 メロン 冷奴(冷トーフ)

布袋草 外蘇 通七八句

作例

藤椅子にベルニュ縮毛のメロンか
冷奴延を出で入り、あと、酒、庵子
布袋草ほこりの道にすててあり、立子
鉄の扉のみたと閉せる外宿か、岐川

仙人掌句会 一月十六日北眠居

黄昏に夏葱振りて主婦の座に、陽子
即席ウラシメンなりし 夏の葱、コリア
山頂の大神像に 初明リ 寿和
御降トヤ稻玉ミーリヨモ穗を孕み
行く年や妻に背中を日々かかせ
我れよりも妻は裕福 年の暮
連名 耕野
夏葱や煮しめてかたき庵の内
夏葱の根を切りためてありにカリ
初明リ射ヒテバンバの牛眼覚む
おさがりに腰すえで酌む老二人
南季 連名
桂子 東音

御案内

来る二月六日夜八時

定例日(オコウサマの日)

沢田信幸先生

アタマンチー十 南米本願寺
かお話においで下さいます
沢田先生の上手な詔術をおきき下さ
い(身も心も洗われます)

皆様、おさそい合せ御参詣下さる様
御案内申上げます

バストス 南米本願寺

各
位

